

星製藥株式會社爭議二件（解決）  
内務大臣 安達謙藏 殿  
社会局長 官 殿

各廳府廳長 官 殿（六廳府署）

湯被第41號  
昭和六年九月十七日  
警視總監 高橋守 雄

6.9.18  
3022

本日目的の通り見附支了事後于下記に封印打拂附り申候事由  
此處作過去は於貴殿主承私通と同様に山王の見丁系の本事  
達の事由を察し甲上候。此度の公事事主心の底から遺憾存する故示下有り  
二、余社の現状及公更細加の申上は直々全く貴殿はよく承知の事無  
先生が所云て本於某は貴殿に取て生不溝下天り未だ。然し元在余公社の現狀  
生之最善の事の外あり。生至得失以次承て有り。乙生未だ了解り御未生在門  
三、既に承知の通り先生は該成久い人には優先的の立場として声明。昨日川三名入人  
既に金六百零六四拾元を支拂はれまし矣。  
四、英川國の人口年考慮すこゝより声明。水ノ居事等。

五、依職為の内は在継続的下後續手續不しと人あり。且。  
六、萬一英川が因り日本との事ありされば其の事情を勘定。事件如て下有り。但先生之  
七、王相談より。公度得る限りの努力を不す決心下有り。不す。  
八、利害貴殿の友人の立場として。此際先生の云ふことを信頼。今公社が一日も早く  
一刻も早く多く拂ひ得てぞと希望する。此度貴殿が一層説明する策と信じます。  
九、争訟入程騒音等から済く競はれ。完有解達の事多いセリハ御立居り。事  
十、帝兩親大典等の事等を爲し高別談及て是を必要と存じます。  
失礼下有り可らず過去の争訟の結果を思。貴殿等と余社の利害關係から考へ  
上り。此際互に平穏にかへて公論に美しく競はる納出工事全般類似  
書面を以てお手へめり。在ります。

星製藥株式會社爭議二件（解決）  
内務大臣 安達謙藏 殿  
社会局長 官 殿

各廳府廳長 官 殿（六廳府署）

左記、通  
八、交涉狀況